

今後の進め方について～「はじめの一步案」から条例素案へ（発散・収束・推敲）

- ① 条例素案の検討・作成は、基本的に「発散」（多様な意見出し）、「収束」（まとめ）、「推敲」（ブラッシュアップ）という3つの場面をつくり、検討・まとめを行っていきたい。
- ② 第3回委員会での意見出しは「発散」局面。それを第4回委員会での検討で重要事項を抽出したのが「収束」局面。条例のコンセプトにつながる6つのキーワードが浮かび上がった。
- ③（仮）起草部会の設置後は、策定委員会（全体会）が主に「発散」、起草部会が主に「収束」の局面を担う（「推敲」は両者のフィードバックを通じて）。
- ④ 市民対話集会（8月想定）、ゲスト参加（10月以降想定）は、「発散」局面。

●直近から素案策定までの流れイメージ



